

令和7年度島根県立大学人間文化学部
3年次編入学試験
保育教育学科 小論文問題 出題意図

2024年11月実施

出題の意図

この出題を通じて、以下の観点を中心に受験者が保育教育学科のアドミッションポリシーの示す「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を有しているかを評価する。

- ① 「批判」という語がもつ本来の意味について筆者が提示する考えを読み取り、それと現代の日本社会において受け止められている「批判」という言葉の意味とのずれを筆者の考えに基づいて指摘できるか（読解力、理解力）
- ② これからの社会を生きる上で求められる「批判する力」とはどのようなものだと考え、その力には何が必要か、批判する立場・批判される立場として自分の視点を具体的に提示し、論じることができるか（発想力）
- ③ 自らの考えを論理的で明快な文章で表現することができるか（論理的思考力、文章表現力）

なお、特に②に関して、問題文に示された「教育者を目指す立場」から論じることを求める。「批判」は相手と共に理解を深め合う営みであること、そして正しく「批判」するためには自分の言葉に責任をもった発言と相手の発言とその考えを丁寧に理解することが必要である。それが「批判する力」の基礎となる。これからの社会を生きる子どもたちに、「批判する力」の基礎としてどのような姿勢やものの見方・考え方を身につける必要があるのか、またそうした教育をしていく上で教師（幼稚園教諭もしくは小学校教諭）としての自分に必要なものは何かという視点を入れながら論じているかどうかを評価する。